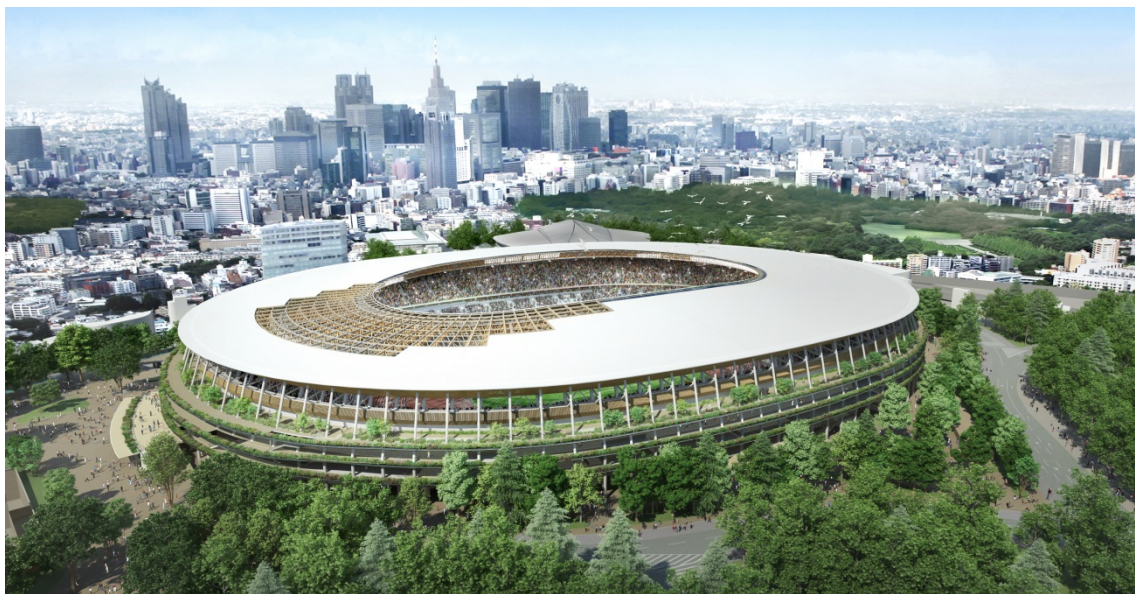


新国立競技場整備事業



南東より鳥瞰イメージ（競技大会後30年の姿）

JAPAN SPORT
COUNCIL
日本スポーツ振興センター

※この資料は、新国立競技場整備事業大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体の技術提案書から抜粋したものである。

「杜のスタジアム」

外苑の緑と水とスポーツのネットワークをつなぐスタジアム



南側外観イメージ（競技大会後30年の姿）



スタジアム内観イメージ

広く市民に開かれた “木と緑のスタジアム”

- 最高高さ50m以下、水平底の連続
- 市民活動をいざなう「空の杜」「大地の杜」
- 木と鉄のハイブリッド屋根構造

持続的な森を形成する大地に近い “環境共生型スタジアム”

- 卓越風を活かした「風の大庇」
- 外苑の杜につながる大樹と雨水を利用したせせらぎの創出
- 8万人の円滑で安全な避難

臨場感と見やすさ、競技者の 力を引出す“皆のスタジアム”

- 様々な人のアクセスに配慮
- 競技者と観客の一体感と臨場感の創出
- アスリートファーストの環境整備

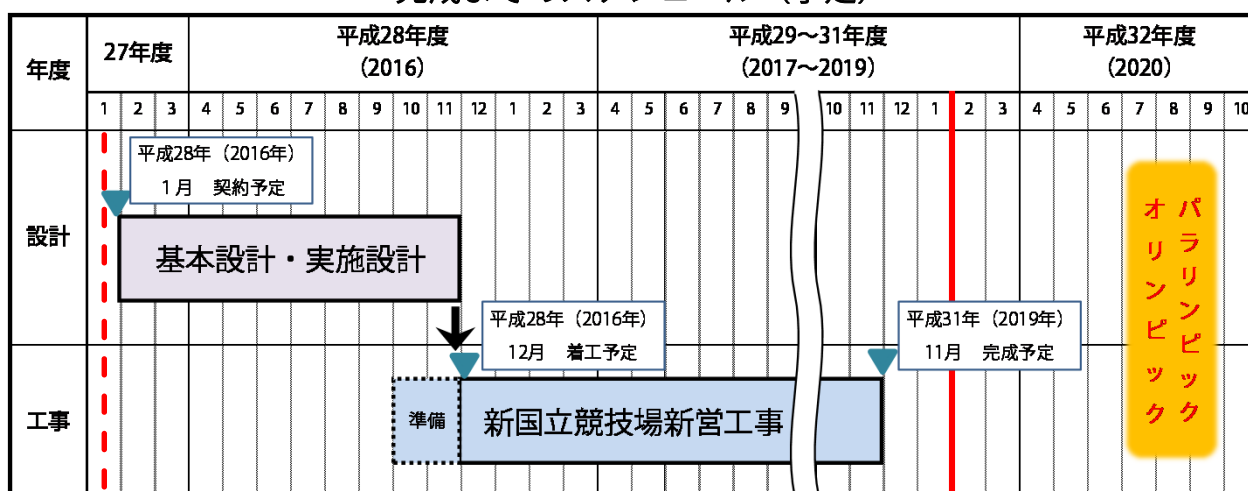
コスト・工期を縮減する “シンプルな同断面の構成”

- 片持ち形式のシンプルな屋根
- 高性能制振構造の採用
- 徹底したユニット化、工場製作の促進

概 要

- 計画敷地 東京都新宿区霞ヶ丘町10番1号ほか
- 敷地面積 約113,000m²
- 建築面積 約 72,400m²
- 延べ面積 約194,000m²
- 階 数 地下2階 地上5階
- 高 さ 最高高さ49.2m、軒高さ42.65m（外苑西通りより）
- 構 造 鉄骨造他（制振構造）
- 座席数 約68,000席
（将来、約8万席への増設が可能な計画）
- 事業工期 2016年（平成28年）1月（契約）
～ 2019年（平成31年）11月（完成・引渡し）
- 工事費 1,490億円（提案工事費）
- 優先交渉権者 新国立競技場整備事業大成建設・梓設計・隈研吾
建築都市設計事務所共同企業体

完成までのスケジュール（予定）



現在

IOC要望（2020年1月末）